



都市機能

快適、安全に暮らせる まちづくりの推進

沼津駅周辺総合整備事業

都市の活力は、人々が集う ことから生まれます

鉄道高架事業をはじめとした沼津駅周辺総合整備事業により、交通問題の解決と新たな都市の魅力をつくるための南北市街地の一体化、都心の土地を最大限に活用した土地利用など、人々が住み、集うことができる都市空間の形成を図ります。同事業の進捗と併せて取り進めべきまちづくりの施策の方向性を示した「沼津市中心市街地まちづくり戦略」に基づき、沼津駅周辺を車中心からヒト中心の空間に再建し、ヒトが居心地良く過ごし、快適に回遊できる魅力的なまちづくりを行っています。



新貨物ターミナル・新車両基地
沼津駅周辺の鉄道の集約化に伴い、原西部地区に貨物輸送の拠点となる新貨物ターミナル、片浜地区に列車の整備点検等を行う新車両基地を整備します。



沼津駅周辺中心市街地
静岡集束圏の中心として市街地の整備改善と商業などの活性化を一体的に推進し、沼津らしいまちづくりを目指しています。



門池公園
公園や緑地の適切な維持管理を実施し、緑あふれるまちをつくらせていきます。



アンダーパス
津大橋、永代橋、御成橋、三箇橋、瀬川橋にアンダーパスを整備、歩行者、自転車の通行の安全を確保し、狩野川周辺の回遊性を高めます。



密集住宅市街地の整備
老朽住宅が密集する原駅前地区を安全で快適な居住空間にしていくために、道路の拡幅工事で公園の整備を行いました。



スマートインターチェンジ
駅周辺で駅の沼津スマートインターチェンジの開通。体系的な交通網と交通環境の整備により、海沿いの利便性向上、市内一部地域の渋滞解消、沼津駅へのアクセス向上による地域産業の活性化を促進し、魅力のあるまちのまちづくりを創出します。



まちなかの公共空間の活用
公園や広場、歩道などの公共空間を活用し、まちなかに入らぬ心地よく滞在できる取組を通じてにぎわいを創出しています。